




## シラバス参照

タイトル「**2017年度 観光学部シラバス**」、フォルダ「**2017年度 観光学部シラバス**」  
シラバスの詳細は以下となります。



科目名	観光戦略論		
担当教員	<a href="#">竹林 浩志</a>		
対象学年	2年	クラス	T1
講義室	T-101	開講学期	前期
曜日・時限	月3	単位区分	選必
授業形態		単位数	2
準備事項			
備考			
科目名 (英語表記)	Strategic Management for Tourism		
授業の概要・ねらい	<p>観光の運営がうまくいくかどうかは、観光資源の有無や観光資源それ自体の集客力によって決まるというように受け身的に理解されることが多いのですが、最近の考え方では、戦略的志向をもつことが重要だと考えられています。戦略的思考とは、環境の変化やそれへの適応を前提として、獲得すべき目標を冷静に分析し、それに向かう適切な活動を確定することを考えることで、経営体が成功するのがあるいは失敗するのかに多大な影響を与えるものとされています。本講義では、観光経営体のマネジメントについて戦略的な視点から考えてみたいと思います。</p>		
授業計画	(内容・順序において若干の変更もありうるが了承いただきたい)		
	回	内容	
	1	観光の定義・範囲・動向	
	2	戦略とはなにか	
	3	観光経営体の使命・目標	
	4	利害関係者	
	5	使命と文化	
	6	外部環境の分析	
	7	内部要因の分析 (1)	
	8	内部要因の分析 (2)	
	9	経営戦略の種類 (1)	
	10	経営戦略の種類 (2)	
	11	経営戦略の評価	
	12	経営計画化	
	13	変化の管理	
	14	コントロールと評価	
15	まとめ+試験		
到達目標	観光経営体における戦略の策定からその実行に至るまでのプロセス (順序・手続き・方法) をアンソフやポーターの戦略理論を土台として説明し、そこから現代における観光経営体のあるべき姿を考察してもらうことにあります		
成績評価の方法	主として試験によって行う なお、レポート (4000~5000字) を1回課す場合がありますが、その場合には必ず提出のこと。レポート提出が評価の前提となります。		

教科書	特に使用しない
参考書・参考文献	ジョン・トライブ著、大橋昭一/渡辺朗/竹林浩志訳『観光経営戦略』（センゲージ・ラーニング） 吉田和夫／大橋昭一監修『最新・基本経営学用語辞典』（同文館） その他、講義中に適時紹介する
履修上の注意・メッセージ	観光経営体の戦略について一緒に考えてみましょう。
履修する上で必要な事項	
受講を推奨する関連科目	
授業時間外学習についての指示	講義中に適時指示します。
その他連絡事項	



Copyright (c) 2008 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.